

第14回沼津市議会定例会

一 般 質 問

* 一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を1回目に行い、答弁に対する再質問として2回目及び3回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って1回目から、全て一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：1回目は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う。

令和8年9月14日、15日、16日

令和8年9月14日（月）午前10時から

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	6 番 大 草 満 *一括方式	1 よりよい学校教育環境整備の取組について (1) 学校施設の雨漏りに対する取組 ① 雨漏りの状況の把握方法 ② 雨漏りの実態を踏まえた対応状況 ③ 教育環境や避難所環境への影響に対する認識 ④ 構造等の課題への対策 ⑤ 長期間を見通した大規模修繕の在り方 (2) 学校遊具に対する取組 ① 学校遊具の状況 ② 学校遊具の安全点検体制と基準の妥当性 ③ 学校遊具が果たす教育的役割への認識 ④ 学校遊具の撤去、更新の判断基準及び修繕の在り方 ⑤ 使用禁止となっている学校遊具に関する情報提供の在り方 (3) 関係団体との情報共有の状況と今後の方針	市 長 教 育 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	5 番 佐 藤 健 一 郎 *一括方式	1 本市のごみ集積施設整備補助金について (1) 令和7年度における執行状況 (2) 新設・修繕の内訳 (3) 集積施設の設置形態 (4) 集積施設における固定式と折り畳み式の耐用年数 (5) 再度補助対象とするまでの期間を7年とする理由 (6) 補助制度に対する自治会等からの要望等 (7) 補助制度の見直しに向けた取組 2 公用車への電気自動車の導入について (1) 検討状況 (2) 脱炭素の広報を担う取組	市 長 関 係 部 長
3	21番 深 田 昇 *一問一答	1 系統用蓄電池施設に対する本市の対応について (1) 系統用蓄電池施設の法的位置づけ ① 電気事業法上の電気事業の用に供する電気工作物との関係 ② 都市計画法上の第一種特定工作物との関係 ③ 建築基準法上の建築物との関係 (2) 都市計画制度上の取扱い ① 市街化区域及び市街化調整区域 ② 用途地域による制限 (3) 住宅地に近接する系統用蓄電池施設における騒音及び低周波音への対応 (4) 今後の対応 ① 国土交通省からの通知を踏まえた対応 ② 自治会要望を踏まえた対応 ③ ルール整備	市 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4	23番 渡 部 一 二 実 *一括方式	1 本市の北西部地域（金岡西部地区・愛鷹地区・浮島地区）における道路ネットワークの早期進展について (1) 県道愛鷹インター線に関わる課題の解決について ① 旧市道0105号線（都市計画道路片浜池田線）の拡幅について ア 県の取組状況 イ 事業の進捗に影響を及ぼしている要因 ウ 道路拡幅と右折車線増設の早期実現へ向けた取組 ② 根方バイパス（都市計画道路金岡浮島線）における右折ラインの明示について ア 市の取組状況 イ 事業の進捗に影響を及ぼしている要因 ウ 右折ラインの明示の早期実現に向けた取組 (2) 東駿河湾環状線（国道1号バイパス）について ① 道路建設事業（沼津岡宮インターチェンジから（仮称）愛鷹インターチェンジ）の進捗状況 ② 東駿河湾環状道路の西進へ向けた事業化の見通し ③ （仮称）愛鷹インターチェンジから（仮称）原インターチェンジ間へのハーフインターチェンジの設置要望の取扱い (3) 根方バイパス（都市計画道路金岡浮島線）の道路建設工事の進捗状況について ① 西沢田その2工区（市道20586号線から国道1号西沢田交差点） ② 東原工区（県道西椎路松長線から市道02009号線） ③ 根古屋工区（県道原停車場線から市道01015号線）	市長 関係部長

令和8年9月14日（月）午後から			
順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
5	26番 高 橋 達 也 *一括方式	1 地域医療体制の強化について (1) 駿東田方医療圏における医療機関の役割分担と連携 (2) 沼津夜間救急医療センターと沼津市立病院の連携 2 観光地域づくり法人（DMO）の導入について (1) 本市の観光における戦略策定等を一体的に担うDMOの導入 (2) 観光客数減少の要因と対策 3 第10次沼津市高齢者保健福祉計画における生活支援と移動支援について (1) 自治会で行われている取組の評価 (2) 次期計画策定に向けた市の考え 4 沼津御用邸記念公園の防空ごうの保存・活用について (1) 安全性や保存状態の調査 (2) 平和学習などにより歴史的価値を市民や来園者に伝える取組の検討	市長 病院長 関係部長
6	25番 渡 邊 博 夫 *一括方式	1 猛暑・物価高騰の時代における高齢者の尊厳を守る福祉政策の深化について (1) 猛暑・物価高騰から高齢者の命と暮らしを守る対策 ① 高齢者の命と暮らしに及ぼす影響 ② 高齢者の熱中症対策及び認知機能低下への対策 (2) 尊厳を中心に捉えた高齢者福祉 ① 独居高齢者の孤立防止のための具体的取組 ② 介護・医療・住まいなど、高齢者の意思を尊重する取組 (3) 第11次沼津市高齢者保健福祉計画への反映 ① 猛暑・物価高騰という新たな社会的課題への対応と高齢者対策の質的転換に関する基本的対応 2 市民の暮らしをよりよくするためのX-Tech NUMAZUについて (1) X-Tech NUMAZUの目指すビジョンと位置づけ (2) 市民生活における満足度・幸福度の具体的効果 (3) 産・学・官・金の連携による市民のための共創体制の確立 (4) X-Tech NUMAZUの沼津版スマートシティ戦略への発展	市長 関係部長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
7	16番 小 澤 隆 *一問一答	1 関係人口・二地域居住者の確保及びふるさと住民登録制度の活用について (1) 関係人口・二地域居住者の確保の意義や目的 (2) 都市部と地方に関する問題点の認識 (3) ふるさと住民登録制度を活用する意義 (4) おためし地域おこし協力隊及び地域おこし協力隊インターンの活用 (5) 困り事とお手伝いのマッチング (6) 副業や農業体験等 (7) 滞在拠点について ① 宿泊支援の可能性 ② 空き家活用の可能性 ③ 民間企業による二地域居住支援サービス等の活用 (8) アクティブシニアとの関わり (9) ふるさと住民の優待 (10) 本市と関わることの魅力	市 長 関 係 部 長
8	14番 佐 野 博 一 *一括方式	1 本市の交通安全対策について (1) 本市の交通事故の状況と特徴 (2) 本市の交通事故の特徴を踏まえた対策 ① 過去の事故事例の活用状況 ② 今後の対策 (3) 交通安全教育・啓発と情報提供の取組 2 本市の自殺対策について (1) 本市の自殺の現状 (2) ゲートキーパーを養成する取組 (3) 相談から支援につなげる体制について ① 相談を受けた場合の対応 ② 相談窓口の周知方法	市 長 関 係 部 長

令和8年9月15日（火）午前10時から			
順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
9	9 番 小 泉 宣 子 *一括方式	1 母子保健医療対策総合支援事業について (1) 5歳児健診 ① 周知と実施体制 ② 受診状況 ③ 未受診者へのフォロー ④ 関係機関との連携 ⑤ 初年度に把握した課題 2 こども家庭センターの相談支援機能の充実について (1) 学校からの相談対応 (2) 人員と専門職の配置 (3) 児童相談所との連携 (4) 継続的な支援 3 窓口における市民の利便性向上について (1) 戸籍等郵送請求に係る交付手数料のキャッシュレス化 ① 利用状況 ② 定額小為替等による手続に対する認識 ③ 交付手数料のキャッシュレス決済導入に対する認識	市 長 関 係 部 長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
10	19番 片岡章一 *一括方式	1 持続可能な家庭系ごみの収集体制と市民サービスの向上について (1) 家庭系ごみの収集体制の持続可能性について ① 家庭系ごみの収集体制の現状と将来的な課題 ② 収集運搬業務の委託における競争性と事業継続性 ③ 価格変動への対応 (2) ごみ出しに伴う市民及び地域の負担軽減について ① ごみステーションの維持管理等に伴う市民及び地域の負担 ② ごみ出し困難者への支援 (3) 将来を見据えた収集方法の見直しについて ① 分別・収集方法の見直し ② 戸別収集の実施に向けた考え 2 高齢者の肺炎予防対策について (1) 高齢者の肺炎の現状と予防に対する認識 (2) 高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種状況 (3) PCV20の定期接種の効果 (4) 定期接種制度の対象外となる高齢者への対応 (5) 肺炎球菌結合型ワクチンに対する本市独自の助成 3 高齢者等の移動支援の充実について (1) これまでの取組と課題 (2) 今後の取組	市長 関係部長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 1	20番 長 田 吉 信 *一括方式	1 災害対応について (1) 多様性に配慮した避難所運営について ① 障がい者・要配慮者への対応 ② 男女の視点に配慮したトイレ・更衣室・居住スペースの設置 ③ ペットの同行避難 (2) 被災者の心の健康についての認識 ① 心のケアの必要性 ② 心の健康についての取組 (3) 被災者支援及び防災・減災の課題について ① 母子避難所の認識と設置 ② 避難所外避難者支援の取組 ③ 水道施設の耐震化と被災後の復旧対応 ④ 断水時の給水支援策と市民への周知 ⑤ 円滑な地下水（井戸水・湧水）の利用ルールづくり及び災害時の利用 (4) 豪雨災害の対応について ① 近年の豪雨災害に対する認識 ② アンダーパスの豪雨対応 ③ 内水氾濫の対策 ④ 被災者支援と対応 2 「こどもまんなか社会」の実現について (1) こども基本法及びこども大綱への認識 (2) 沼津市こども計画の目的と役割 (3) 「こどもの権利条例」の制定への認識と取組 3 公園への自動販売機設置による利便性向上について (1) 公園への自動販売機の設置状況 (2) 今後の課題と取組	市 長 関 係 部 長

令和8年9月15日（火）午後から			
順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 2	12番 尾 藤 正 弘 *一括方式	1 大規模災害発災時における本市の対応 (1) 災害時の避難所環境に対する認識 (2) 避難所に指定されている小中学校体育館への空調設備の導入に対する認識及び今後の取組	市 長 教 育 長 関 係 部 長
1 3	3 番 大 川 敬 太 郎 *一括方式	1 小中学校再編と広域的な教育連携について (1) 学校再編の法的根拠 (2) これまでの学校再編の現状と評価 ① 沼津市立集明小学校 ② 市内小中一貫校 (3) 将来の広域的な教育連携 ① 広域での学校再編 ② 教育委員会同士の連携 2 人口減少時代における地域防災体制について (1) 地域特性を踏まえた消防団運営 (2) 消防団再編の進め方 (3) 消防設備・資機材の整備 (4) 方面隊活動への支援 (5) 自主防災会との役割分担 (6) 消防組合との連携	市 長 教 育 長 関 係 部 長
1 4	4 番 堤 飛 鳥 *一括方式	1 災害時の観光客への対応について (1) 観光地における災害時の観光客への対応について ① 外国人を含む観光客への情報伝達、避難誘導 ② 沼津港周辺における津波避難場所の確保の現状 ③ 観光客への対応における関係機関との連携 ④ 宿泊施設等を活用した観光客の受入体制 2 孤立集落対策について (1) 災害時の孤立リスクを低減する主要地方道沼津土肥線の道路整備について ① 防災上の課題及び道路整備の状況 ② 半島振興法の考えや国土強靱化を踏まえた国・県・市の連携と整備促進に向けた取組	市 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 5	11番 平 野 謙 *一問一答	1 本市の子育て支援について (1) 産後ケアについて ① 事業の現状と利用の状況 ② 利用者の反応 ③ 今後のサービス拡充に対する認識 ④ サービス拡充に向けた課題とその認識 (2) 保育所の待機児童について ① 本市の状況 ② 待機児童の集計方法 ③ 隠れ待機児童解消への対策 ④ 市民のニーズに応える取組 ⑤ 兄弟児の現状 (3) 放課後児童クラブについて ① 運営方式変更後の状況と評価 ② 現状における課題と認識 ③ 育児休業中の利用制限の撤廃 (4) 小学校における朝の状況について ① 朝の時間帯の現状 ② 見守りの状況と学校管理上の課題に対する認識 ③ 教員の時間外の勤務負担に対する認識 ④ 勤務時間を柔軟に運用する取組の検討 (5) 今後の子育て支援の取組 ① 課題の認識と今後の取組	市 長 教 育 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 6	17番 加 藤 元 章 *一問一答	1 本市の地震・津波対策について (1) 犠牲者数の最小化と命を守る津波対策 ① 静岡県第4次地震被害想定で公表された本市の最大犠牲者数1万3000人を減らす取組 ア 減災の取組の効果を踏まえた現状の犠牲者数の認識 ② 津波対策の現状と課題 ア 津波が浸入する脆弱な箇所の認識と対策 イ 津波発生の際の避難猶予時間の認識 ウ 静岡県津波浸水想定で浸水域となる区域の現実的な避難行動についての認識 エ 津波避難ビルの現状についての認識 オ 津波避難ビルの拡充に向けた課題と施策案 カ 陸間の遠隔操作化と常時閉鎖箇所の避難行動 キ 浸水域となる区域の住民への「わたしの避難計画」の啓発 (2) 生活インフラとして最重要な上下水の対応・対策 ① 避難地、避難所での給水確保策 ア 耐震性貯水槽の考え方と自活のための防災井戸設置 ② 津波浸水で甚大な被害が想定される中部浄化プラントについて ア 現状での被害想定を踏まえた市民生活への影響 イ 予防保全を見据えた具体的な津波対策 ③ 中部処理区域内の各家庭の下水被害の想定 ア 現状の被害想定と対応策 (3) 危機管理に関わる組織体制の強化 ① 防災庁発足等の動きに対応した庁内体制の強化	市長 関係部長

令和8年9月16日（水）午前10時から

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
17	1 番 川 口 慶 *一括方式	1 本市の防災の取組について (1) 避難所の整備について ① 避難所となる小中学校体育館への空調設備の設置 ② 体育館への断熱・遮熱及び耐震の取組 ③ 備蓄品の状況 ア 備蓄食料・飲料水の状況 イ 消費期限が迫った備蓄食料の処分方法 ④ 食事の提供 ア 調理機材の備蓄 イ 学校給食調理場、家庭科室などの使用 ⑤ 学校に設置されている太陽光発電設備の非常時における使用と必要性に対する認識 (2) 受援体制、職員応援派遣 ① 災害時の受援体制 ② 被災地への職員応援派遣	市 長 教 育 長 関 係 部 長
18	2 番 高 橋 秀 子 *一括方式	1 新中間処理施設整備事業における適正な事業執行について (1) 環境影響評価に関する判決後の判断 ① 判決後の県への再照会とその回答 ② 県の回答を踏まえた本市の現在の認識 (2) 新施設整備における環境への影響の把握と評価 ① 生活環境影響調査の内容と県条例に基づく環境影響評価との違い ② 現在の環境影響の把握と評価に対する認識 (3) 施設整備の必要性和理解の醸成 ① 現施設の状況と新施設整備の必要性への認識 ② 災害時のごみ処理への影響と新施設の役割 ③ 地域住民への対応と理解の醸成 (4) 市民への説明 ① 市民が事実に基づいて判断するための情報提供	市 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
19	18番 山下 富美子 *一問一答	1 AIによる水道管路の監視と水道事業の持続可能なDX推進について (1) 本市の水道管路の老朽化と維持管理の限界について ① 管路経年化率の推移と老朽化対策 ② 突発的な漏水・道路陥没リスク (2) 第4回上下水道DX推進検討会で示されたロードマップに基づく維持管理の推進について ① 令和9年度末までの国が掲げる目標の認識 ② 常時遠隔監視と災害復旧のトリアージについて ア 先進事例の調査 イ 重要管路での遠隔監視の試験導入の検討 ③ 国の財政措置の活用と災害時の体制強化について ア 国の財政支援を活用した水道管路に係る維持管理対策の検討 イ 民間との災害協定の締結状況 2 次期沼津市障がい福祉計画等について (1) 難病者の現状認識と次期沼津市障がい福祉計画等の策定状況について ① 難病者の現状と傾向について ア 指定難病者の現状認識とニーズの把握 ② 次期沼津市障がい福祉計画等の策定状況について ア 計画策定の進捗状況とスケジュール イ 障害者手帳の有無にかかわらない難病者の位置づけ ウ 障がい者等のニーズ等調査結果の反映 エ 自立支援協議会等への指定難病者の参画 (2) 難病情報の発信体制及びインクルーシブ社会実現に向けた取組について ① 本市ホームページにおける難病情報の発信について ア 制度改正に伴う情報発信の遅延と指針の是正 ② 本市のインクルーシブ社会実現に向けた取組 3 不登校重大事態における初期対応及び取組と教育委員会・市長の法的責任について (1) 初期対応とプロセスの検証について ① 不登校の現状と認識 ② 学校現場でのプロセスと取組について ア 早期把握とプロセス	市長 教育長 関係部長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
		イ 現場による相談対応と二次加害 ウ 適切な調査の実施と教育委員会への報告 (2) いじめ防止対策推進法及び国のガイドライン等 に基づく法的義務の履行について ① 不登校重大事態の認定 ② 外部専門家による第三者委員会の設置 ③ 誠実な情報提供の義務 (3) 重大事態への対処又は発生の防止に対する地方 公共団体の長（市長）の関与について ① 調査結果を踏まえた必要な措置	